

2026年3月25日

中東情勢緊迫化に伴う弊社製品に関するご案内

東リ株式会社

昨今の中東情勢緊迫化を背景として、原油価格高騰による原材料価格・エネルギーコストの上昇はもとより、塩化ビニル樹脂や可塑剤、ナイロン・ポリプロピレン繊維等の主要原材料に加え、各種モノマーやエチレン等の川上原材料に至るまで、多種多様な原材料の調達が困難となる状況が予想されております。

現下の状況を鑑み、弊社といたしましては、在庫数量の拡充や原材料の内製化等の取り組みにより、当面の間(1~2 か月程度)は安定的な製品供給に万全を期してまいります。一方で、情勢不安が長期化しますと弊社製品の供給体制に支障を来し、お客様への製品供給が滞る事態を招くリスクがございます。誠に恐縮ではございますが、安定供給体制の維持に向けて、弊社製品のご発注に際しましては、納材等に関する情報の早めのご提供をお願い申し上げます。

また、原材料調達環境の悪化とともに、弊社製品の製造コストや輸送コスト等の上昇は避けられない状況となっております。引き続き、製造原価低減、並びに各種費用の縮減に取り組んでまいります。今夏以降のお取引価格の改定等について、改めてご提示させて頂くことを検討してまいります。

原材料調達環境は刻々と変化しております。今後の弊社製品の供給状況やお取引価格につきましても、状況に応じて速やかにご案内申し上げます。

お客様にはご負担をお掛けすることとなり、誠に心苦しい限りではございますが、諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

